

貯 法：室温保存  
使用期限：外箱に表示の使用期限内  
に使用すること

日本薬局方

承認番号	(60AM)3686
薬価収載	1985年8月
販売開始	1985年8月

# 塩化ナトリウム

## Sodium Chloride

### 【組成・性状】

本剤は塩化ナトリウムの原末で、無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。

### 【効能・効果】

食塩喪失時の補給

### 【用法・用量】

塩化ナトリウムとして、通常成人1回1～2gをそのまま、又は水に溶かして経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 心臓、循環器系機能障害のある患者〔循環血液量を増すことから心臓に負担をかけ、症状が悪化するおそれがある。〕
- 腎障害のある患者〔水分、塩化ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。〕

#### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。  
副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	類 度 不 明
大量投与	悪心・嘔吐等の消化器症状、高ナトリウム血症、うっ血性心不全、浮腫

#### 3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

### 【薬効薬理】<sup>1,2,3)</sup>

塩化ナトリウムは血清の無機成分の90%以上を占め、細胞外液の浸透圧の維持に係る主要な因子となっている。

塩化ナトリウムは塩類作用を呈し、その吸収によって体液の浸透圧は上昇し、組織水分は体液中に吸収され、組織代謝が亢進し、利尿作用を現す。

塩化ナトリウムの欠乏はアルカローシス、けいれん、ときに筋肉の興奮を伴う嘔吐、異常発汗に基づく熱けいれんなどの原因となり、またアジソン病に似た脱力症状を示すことがある。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：塩化ナトリウム  
化学名：sodium chloride  
分子式：NaCl  
分子量：58.44  
性 状：無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。水に溶けやすく、エタノール(99.5)にほとんど溶けない。

### 【包 装】

2kg（1kg×2）

### 【主要文献及び文献請求先】<sup>※</sup>

- The United States Dispensatory, 27th ed., 1050 (1973)
  - Martindale: The Extra Pharmacopoeia, 29th ed., 1039 (1989)
  - ※3) 第十六改正日本薬局方解説書, C-941 (2011)
- 【文献請求先】 扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 学術部門  
〒536-8523 大阪市城東区森之宮二丁目3番30号  
TEL 06-6964-2763 FAX 06-6964-2706  
(9:00～17:30/土日祝日を除く)



製造販売元  
**扶桑薬品工業株式会社**

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号